



妖ノ犬に墮つ!

く…っ
油断したわ！

これほどの
妖術を使える者が
敵にいたなんて…
動けない…っ

私も忍びよ！
殺すなら—

アホ
見やん
!!

カアッ

ウウ

アセ

ヒッ

アッ

アッ

キ



ワン
ワン…!

なっ…
何この犬…っ!?

そ、その目…!
まさかこの術は!?

アナタ
妖犬ね!?



アセ

アセ

アセ

アセ

ワオオオ……!

んああ!
やめ……っ
入って来るなあ!

殺すなら
一思いに……い……!
んんんんん太い!

これはチャンスよ!
術が解ける隙を
狙えば……ッ!

んんん

アセ

アセ

アセ



ワオオツ!

はア...はア...
この...っ...アツ
そんなに腰をっ
はアん!

何なのこの犬!!
人に慣れすぎ!

イ、イヤ...ダメっ
これ以上されたら
私...ッ!

あ

ア

ア

ア

ア



ワオオオ……!!

はアアア

中は……ッ!

中は
ダメエエエ
——
ツツ!!

私……
犬に中出し
されてるうう!!



ワオオン!

はア...はア...
この隙に逃げ...
ん.....っ!

...え?
どうして!?
なんで抜けないの!?

何よこれ...
ペニスの根元が
膨らんでる...!?



ワオオオ……!

ウソ……ッ!
射精……ッ!?

ダメエエ!
犬のザーメンが
流れ込んでくるう!

イヤアア!
抜けない!
抜けないいい!

止めてっ



ワオオン!

膨らんだ
ペニスの根元が
ポンプみたい
に伸縮して——

ザーメン
送り込んで
くるううう——ッ
♡

はアアア
それらめえ♡
イクううう♡





ん……
ちゅ……んっ

あと何頭奉仕したら
解放してくれるの？

助けてくれた事には
感謝するけど――

ん……

アセ

ヒッ

アセ

アセ

はあ...はあ...
レロレロ...っ

ああ...私...
犬に奉仕してる！

彼らの里で
牝犬みたいにな...っ！



ワン
ワン
ワン…!

はあ…っ
ちよ、ちよっと
待ってよ…!

この子が終わったら
するから…っ

くっ…
このっ
ケダモノおお!



ワン…!

はアアア
太おおおいっ!

いえ…違…っ!
違う…のッ!
悦んでなんかア!

しっかり
しなさい私!
犬のチンポなんか
負けちゃダメよ!

402222
333333

3333

955

555



ワオオツ!

はアアアん♥
それえ…そまっ
ダメエエエ…!

アああん♥
気持ちいいいっ

犬千んぽに♥
奥まで突かれて♥
イクうううっ♥

木木木

んんん…
んんん…
んんん…



オオオンっ！

んご…っ！
ふご…っ!?

んぐううう

ツツ!!

上下同時に
犬のザーメン
注がれるうう



957

ワオオン!

はあん!
ま、待って…!
それは——っ

ああ来る!
犬のザーメンが沢山!
上と下同時に…!

フゴ…っ!
喉の奥まで
膨らんで——



ワオオ……!

犬のサーメンで
満たされた臍内を
おおおお
っ♡

犬のチンポが
グリユグリユ
カキ回すっっっ♡

イクッ♡イクッ♡
犬に種付けされて
イクユっっっ♡♡♡♡



ん……
ちゅ……ッロっ
フハァ……♡

ロの中が……っ
犬の精液でズロズロお
……ゲフウウ……っ♡

……なにや
今度は口に注ぎたいの？
ケダモノね♡

ああ……ダメ……！
戻るのは私……
これ以上は♡



ワンワン♥
これでいい？

もう逃げないから
これで許して
くれるかしら？

くっ…

里からの脱出失敗！

また隙を見て
逃げないぞ…！



ワワン…!



ひゃああ!?
な、何…!!?

ちよ…何を
挿入して…!!?

や、やめ…!!?
や、やめ…!!



アセ
アセ
アセ

ワンワン！

はあああ？
や、やめて！

アーン…動くっ
抜いて…っ
抜きなさいよ…！

このっ
ケダモノ共お！



アセ

アセ

アセ

アセ

ワオオン!

はああん!
やめ…てっ!
ああん!

ごめんなさいっ
逃げないからっ
もう逃げないからあー!

これ以上
突っ込まないでっー!



アムアム
アムアム
アムアム

アセ

アセ

アセ

ワオオオ!

不知火舞は
牝犬ですっ

お犬様の肉穴です
性処理専用のっ
スケベくごさすわっ

はおん!?
動くのおお
らめえええっ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ



全く：
呆れた
変態犬共ねっ ♡

そんなに私を拘束して
四六時中セックス
したいわけ？

……っ
またそんなに
勃起させてっ ♡

はいはい ♡
どうぞ自由に
お使いください
お犬様っ ♡

くちゅ ♡





何何
!?!?

どうやって
術で拘束を
!?

ちよ…何よ!?

おしきぶり奉仕なら
今朝もしたでしよう!?

ウウ

アセ

ヒン

アセ

アセ

アセ

アセ

ブオ……!

ちょ……やめっ!
んアアアアアアッ
入って来るう!

犬と全然違う!?
何よこのチンポ!

何勃起しながら
見てるのよっ
このケダモノおあ!

んんん
んんん

アセ

アセ

アセ

アセアセ



ブヒイイツ!

おっ…おん♡
ドリルチンポ
感じちゃうっ♡

ほら…っ
アタタが作った
アタタの牝犬が
豚と盛ってるわよっ♡

ああ…私イ
犬たちの見世物に
なってる…っ!



ズビィイ!

はおお…んッ!
イクウウウッ♥

不知火舞ッ
豚と一緒にイ
参りますううッ!!

あめあめ
最低なのに
感じちぎっつッ♥



ブビイ!
ブビイ!

ちよ待っ
ほおおおん

奥でヨロてる!
奥でヨロてる!

豚に種付け
されりゅうっ

おあ!
おあ!



はア...はア...
すんごい量...♡

フフ...
忍犬何頭分かしたらね♡
この里の犬だけじゃ
足りないかも？

なによ喰っちゃって♡
牝豚を太いモノで
わからせようっ
ってこいつのかつら？

ほら...♡
そのガキガキに
勃ったモノ?!
早く頂戴♡



ん...ん...
...ん...ん...

これ何頭目
だったかしら...?

彼らの里に
連れてこられたの...?
何日経ったの...?



ワオオツ!

はああん!
イクッイクッ!
お頭のお!犬の!
チンポでイクウ!

ごめんなさい
アンテイ!
私もう

奥まで届いて
気持ちいい
ワンっワンっ

チンポ...
チンポ...

チンポ...
チンポ...

ホ。マ

ニロ



ワオオ……!

はアアア

イクウウウ

あっあっ
根元で中出し
らめええ
ツツ

クウウウ
クウウウ
クウウウ



ホ。マ。

ニロ

9/16

ワオオオ……！

あああん！
精液で一杯になった
私の中を

パンパンに膨らんだ
犬の剛棒がっ
かき回すうっ

フゴ!?
んんぐ……っ
ワオオオんっ



ワオオン!

わおんっ♥
射精の勢い
増してきたあっ♥

口の中の精液も
ノドに絡み付くっ♥
ゴキュ♥ゴキュ♥

体中をお
犬の精液が
駆け巡るっ♥
はあおん♥





はああん
引き抜く勢い
ヤバああ

それだけで
イッチャウッ
フオオオンッ

千景

クッ

クッ

クッ

クッ

クッ

クッ

ズヒイイ!

なっ…
待ってよっ!?

連続で
豚とか無理よっ!?

ちよ…今
犬の精子で満タン
なのよおお…っ!



ズビゾイ……!

はああん♥
ドリル入って
来りゅうっ♥

犬の精子
かき分けながら
奥まで来るうっ♥

あああダメえ♥
せめてそのままっ
カキ回さないでえ♥



ブヒイイツ!

はああん♥
スゴおおいい!
ドリル深いい♥

イアーン!

ほろほろっ♥
アナタたちの牝犬が
牝豚になっちゃっ
わよ—っあ!?

あああん興うっ♥
イクフヒっ♥
イクフヒイイツ♥



ポッ

ロ

あん

アヒイイ!

んぐおっ ♥
フムムムムム ♥

モガッ ♥ モゴッ ♥
ゴキュ...ゴクッ ♥
じゅんぬんぬん ♥

豚と犬のザーメン
同時に受け止めながら
いっぺんうっうっ ♥ ♥



はア...はア...
フフ...フフ...
❤️

何よ❤
私を牝豚にしたのは
アナタたちでしょ?

フフ...❤
牝豚と牝犬
どっちが好み
なのかしら❤

どちらにせよ
私はアナタたちの
ケダモノ...でしょ❤





















































































































































































